

日々の教育でこんな悩みを感じていませんか？



研修医や学生の指導ってやっぱり、資料の準備が大変だよな。
良い教材があれば指導や教育をしやすと思うんだけど。



研修医や学生の指導はやってみたいけど、教育や指導の方法を
教えてもらったことがないから、うまくできないかも。



臨床業務や研究が忙しすぎて、研修医や学生を指導する時間が
確保できない。体力的にも今の業務量で精一杯だな。



産婦人科診療に興味のない研修医や学生には、教育や指導を
する気がどうしても起きないな。



そのお悩み一緒に解決しましょう

医学教育活性化委員会企画

「産婦人科医が考える学生研修医指導のコツ」

1.産婦人科医による教育活動の共有 座長 渡利英道先生

「医師法改正、ポストコロナを見据えた臨床実習の在り方」

演者 磯部真倫先生

「分娩室のVR化とステップラダーシステムのスマホ化」

演者 小松宏彰先生

2.医学教育活性化委員会が目指すもの～実態調査結果をもとに～

座長 小林陽一先生

- ・教育支援コンテンツの充実
- ・教育に関わる産婦人科医のためのプラットフォームの作成
- ・指導力向上への取り組み

演者 井平圭先生

— 日時 —

2022年8月6日(土)

午前8時20分～9時50分

— 会場 —

福岡国際会議場

第4会場 5階501

— 主催 —

日本産科婦人科学会 教育委員会
医学教育活性化委員会

教育委員会委員長

渡利英道

医学教育活性化委員会委員長
委員

関沢明彦
井平圭

磯部真倫

小作大賢

金井貴弘

小松宏彰

細川義彦

長谷川瑛洋

(50音順)